

株式会社 堀場製作所

2016年12月期 第2四半期決算説明

代表取締役会長兼社長
堀場 厚

2016年8月4日

説明内容

■ 2016年12月期 上期 決算概要

■ 2016年12月期 通期 業績予想

■ セグメント別詳細説明

■ 株主還元

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2016年上期の振り返り

外部 環境

- ◆ 熊本地震発生
- ◆ 英国のEU離脱が決定
- ◆ 排ガス・燃費問題
- ◆ 円高推移

内部 状況

- ◆ 滋賀県で新拠点
「HORIBA BIWAKO E-HARBOR」竣工
- ◆ ホリバMIRA社を買収して以降、初の上期決算
- ◆ 2016年1月より収益認識基準を変更
(出荷日 ⇒ 据え付け・着荷日)

2016年上期の振り返り

2016年熊本地震（4月14日、16日発生）

株式会社堀場エステック阿蘇工場

- 所在地 : 熊本県西原村
- 主要製品 : マスフローコントローラー / 半導体部門
- 被害状況 : 当社グループでの人的被害なし
一部建物が損傷（第2四半期に9.2億円の特別損失計上）
- 被災後対応 : 4月下旬から段階的に生産再開 / 京都工場の一部代替生産
➡ GW明けには震災前の水準の生産量へ回復
- 現在の状況 : 2016年6月で過去最高の生産量（月産）を更新

（7月30日時点）



建物外観



生産ライン

2016年12月期 上期決算概要

減収減益。過去最高利益の前年上期に届かず。

P&L

- ◆売上高から当期純利益まで、前年同期比減収減益
- ◆円高の影響は、売上高▲44億円、営業利益▲9億円

B/S

- ◆総資産は▲170億円の2,150億円
 - ・円高による、円換算での資産減少
- ◆自己資本比率は56.2%

CF

- ◆利益計上などで営業CF: +59億円
 - ◆設備投資などにより投資CF: ▲50億円
 - ◆長期借入による収入などにより、財務CF: +59百万円
- } フリーCF: +9億円

2016年12月期 上期連結実績

(単位:億円)

	2015年	2016年			
	上期実績※	前回予想(5/11)	上期実績	前年比	vs 前回予想
売上高	810	850	799	▲11	▲50
営業利益	110	85	77	▲32	▲7
営業利益率	13.6%	10.0%	9.7%	▲3.9p	▲0.3p
経常利益	107	81	75	▲31	▲5
親会社株主に帰属する 当期純利益	65	52	41	▲24	▲10
USD(円)	120.30	115.00	111.70	▲ 8.60	▲ 3.30
ユーロ(円)	134.10	125.00	124.52	▲ 9.58	▲ 0.48

※2015年実績は、2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値
(以後スライド内の2015年実績数値も全て同じ)

2016年12月期 上期連結実績(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2015年 上期	2016年 上期	前年比	2015年 上期	2016年 上期	前年比
自動車	266	281	+14	29	5	▲ 24
環境	82	77	▲ 4	9	8	▲ 0
医用	139	138	▲ 1	13	15	+2
半導体	191	178	▲ 12	51	44	▲ 6
科学	131	123	▲ 7	6	2	▲ 3
合計	810	799	▲ 11	110	77	▲ 32

説明内容

- 2016年12月期 上期 決算概要
- **2016年12月期 通期 業績予想**
- セグメント別詳細説明
- 株主還元

2016年想定為替レートの変更

(単位:円)

	2015年	2016年					
	上期実績	実績				今回予想	下期予想
		期首予想	1Q	2Q	上期		
USDドル	120.30	115	115.35	108.05	111.70	108	105
ユーロ	134.10	125	127.15	121.89	124.52	120	115

2016年:1円円高による営業減益額

USDドル 1億7,500万円

ユーロ 2,200万円

2016年 下期 HORIBAを取り巻く環境

自動車



欧州での排ガス規制強化による国内外自動車メーカー、部品メーカーの投資意欲は旺盛

環境



米州の石油化学関連企業の設備投資需要堅調
中国では2016年開始の新規制の影響で一時的な需要減

医用



国内：開業医市場向けで堅調な推移を見込む
海外：欧州をはじめ全体の景気低迷。需要動向注視

半導体



アジアにおける半導体メーカーの設備投資は堅調に推移

科学



国内：円安影響による民間企業の設備投資の回復に期待
海外：欧米の政府予算関連の動向注視

2016年12月期 通期業績予想

(単位:億円)

	2015年	2016年		
	実績	5/11予想	今回予想	5/11予想比
売上高	1,719	1,750	1,700	▲ 50
営業利益	201	175	175	変更なし
営業利益率	11.7%	10.0%	10.3%	+0.3p
経常利益	196	165	170	+5
親会社株主に帰属する 当期純利益	132	108	108	変更なし
一株利益(円)	315	256	256	変更なし
ROE	10.6%	8.1%	8.1%	変更なし

2016年12月期 通期業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2015年 実績	2016年 5/11予想	2016年 今回予想	vs 5/11予想	2015年 実績	2016年 5/11予想	2016年 今回予想	vs 5/11予想
自動車	654	700	650	▲ 50	52	50	40	▲ 10
環境	167	180	165	▲ 15	17	15	13	▲ 2
医用	276	280	265	▲ 15	25	20	25	+5
半導体	353	310	350	+40	94	75	87	+12
科学	267	280	270	▲ 10	11	15	10	▲ 5
合計	1,719	1,750	1,700	▲ 50	201	175	175	変更なし

説明内容

- 2016年12月期 上期 決算概要
- 2016年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元

自動車

2016年上期実績/2016年通期予想

(単位:億円)

2016年上期実績

- 排ガス** + 国内自動車メーカーの投資需要堅調
MCT - 日本や欧米で販売低調。利益率低下
ECT + 昨年7月に買収したホリバMIRA社による売上増加

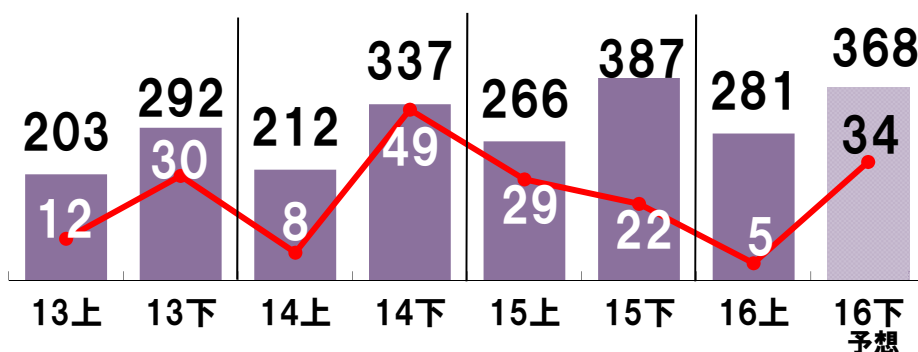
	2016年上期 売上高実績(前年実績)
排ガス	183 (182)
MCT	50 (78)
ITS	7 (7)
ECT	39 (-)

2016年通期予想

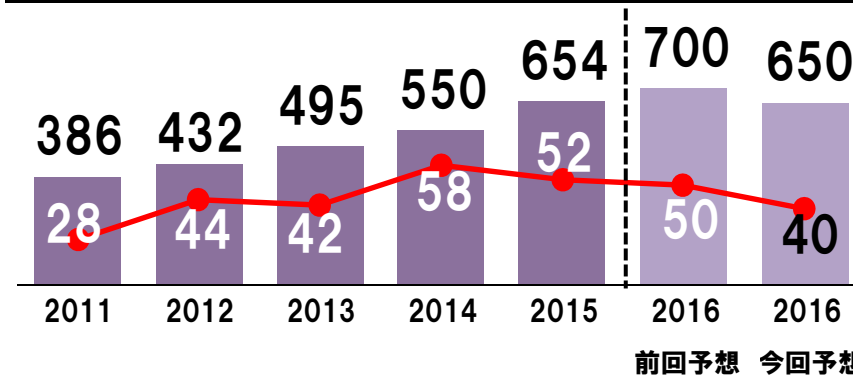
- 排ガス** + 国内を中心に年末に向け出荷増加を予想
MCT - 通期見込み下方修正。2017年での挽回期待
ECT - 円換算で減収。ポンドベースでは想定通り

	2016年通期 売上高予想(前年実績)
排ガス	415 (397)
MCT	140 (197)
ITS	15 (16)
ECT	80 (42※半期)

売上高・営業利益推移(半期) ■売上高 ▲営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■売上高 ▲営業利益



自動車 排ガスビジネス

排ガスビジネス

日本での販売堅調(自動車メーカー、部品メーカー)

➡ 国内設備投資は堅調に推移

WLTP※(国連提唱の世界統一排ガス試験法)

➡ EUにて2017年9月、日本にて2018年導入予定

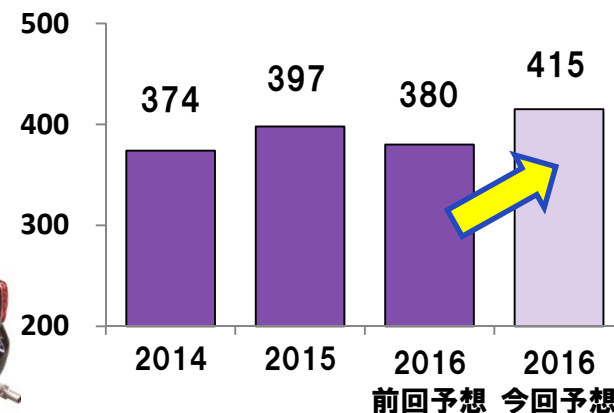
RDE規制(路上試験:Real Driving Emission)

➡ WLTPと同じく2017年9月EUで開始

※WLTP...Worldwide harmonized Light vehicles Test Procedure



排ガス売上高 (単位:億円)



HORIBA BIWAKO E-HARBOR 稼働

竣工 : 2016年5月23日

場所 : 滋賀県大津市

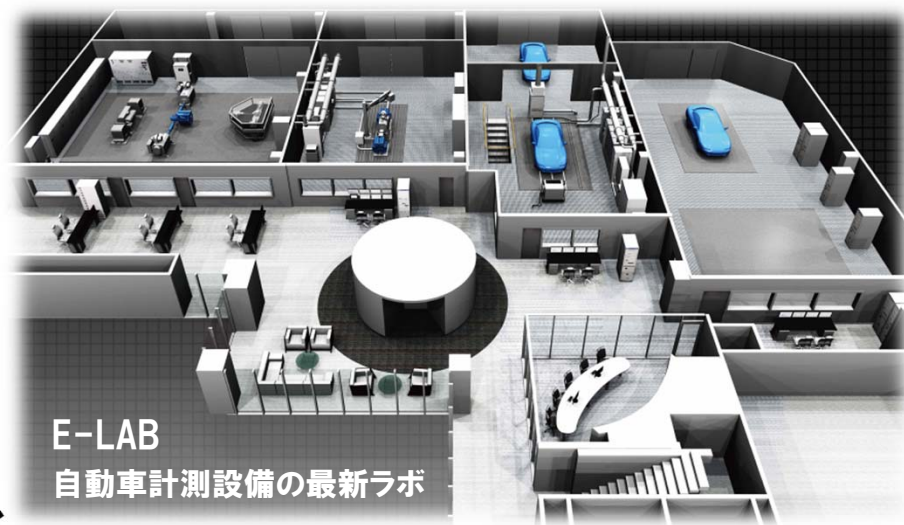
機能 : ガス計測技術の開発・生産拠点工場

自動車計測システムのラボ併設

狙い : 生産効率化による収益性向上

ガス計測関連製品の開発加速

自動車計測のデモンストレーション強化



自動車

第46回機械工業デザイン賞 最優秀賞受賞

車載型排ガス計測システム(OBS-ONEシリーズ)

2016年
第46回 機械工業デザイン賞贈賞式

日刊工業新聞社



「機械工業デザイン賞」

- ◆ 生産財を対象とした工業製品のデザイン賞
- ◆ 最優秀賞である
「経済大臣賞」を初受賞

車載型排ガス計測システム



自動車 MCTビジネス/ECTビジネス

MCTビジネス（自動車計測機器）

・2017年9月：EUでWLTP/RDE規制開始

➡ 本年は自動車メーカーの設備投資の躍り場

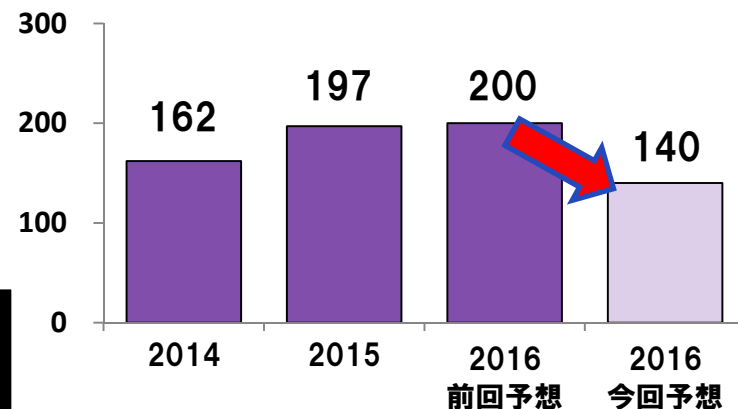
・中国での戦略的な受注案件増加

➡ シェア拡大狙う。利益率は一時的に低下

2017年～

ターンキー案件の拡大により
排ガスビジネスとの相乗効果を追求

MCT売上高（単位：億円）



ECTビジネス（Engineering/ホリバMIRA社）

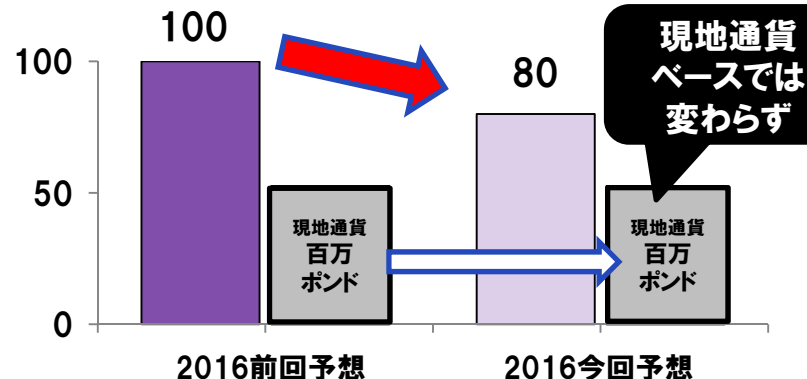
・円高ポンド安の影響で売上高減少

・英国EU離脱影響：今後の動向注視

➡ ホリバMIRA社への設備投資は続行

✓ 一部投資案件については慎重に判断

ECT売上高（単位：億円）



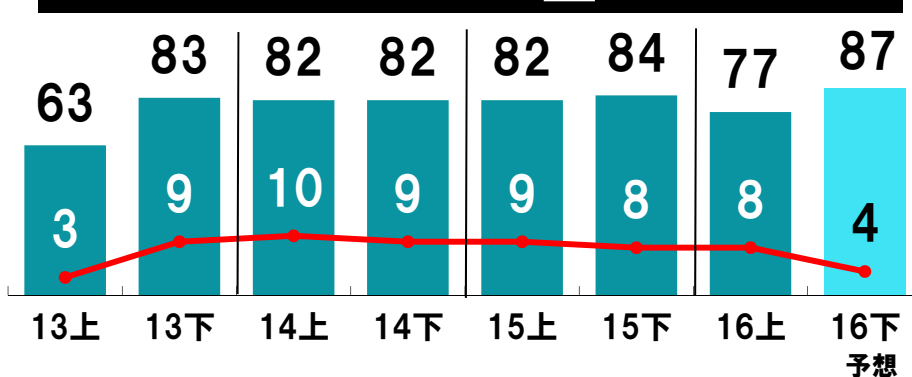
2016年上期実績

- アジア(主に中国)での煙道排ガス分析装置の販売低調
- 日本での水質計測機器の販売が低調

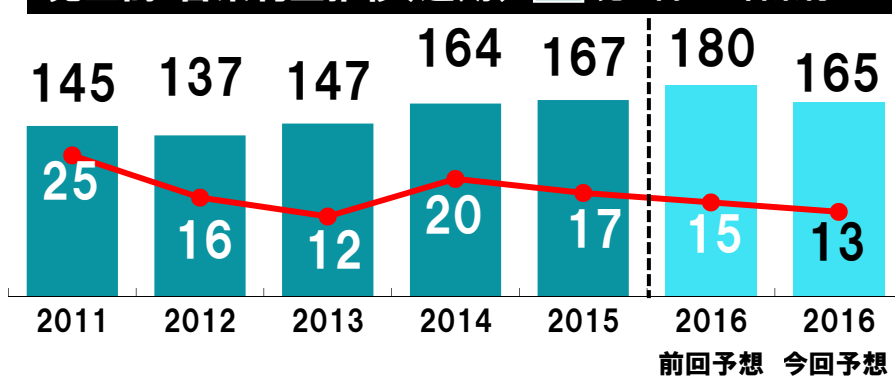
2016年通期予想

- + アジアでの半導体メーカーによる設備投資需要に期待
- 中国で2016年開始の新環境規制 ➡ 市場は慎重に対応、一時的な需要減
- + 日本で官公庁や民間向けの水質計 ➡ リプレイス需要取り込みをめざす

売上高・営業利益推移(半期)



売上高・営業利益推移(通期)



環境

装置販売からシステム販売へ

システムソリューション提案によるビジネス機会の拡大

例)米国テキサスでのプロセス計測設備ビジネス

石油精製
化学プラント

対象市場 : 石油精製・石油化学関連企業

HORIBA : ガスや水質計を組み合わせたシステム販売

売上高 : 約15億円(2015年通期実績)

移転計画 : 拠点移転拡張予定

テキサス新拠点完成予想図



2017年完成予定

分析計単品販売 → 製品を組み合わせたソリューション提案を他市場でも展開中

水インフラ



環境対策



発電・エネルギー



環境

中国(上海)環境規制とHORIBA対応

改訂版大気汚染防止法:VOC規制

規制内容 :VOC【揮発性有機化合物】の発生源に対する排出規制

開始時期 :2016年開始。他地域に先行して上海市が規制設定

➡ 2017年1月までに上海市内にて段階的に対象業界拡大

➡ 市場は**規制対応方法**に対し**慎重**になっている状況

HORIBA

上海VOC規制に対応できる
計測機器をラインアップ

全炭化水素濃度測定装置

用途

大気汚染監視

VOCの除外装置評価

触媒実験用低濃度HC測定

など

医用

2016年上期実績/2016年通期予想

(単位:億円)

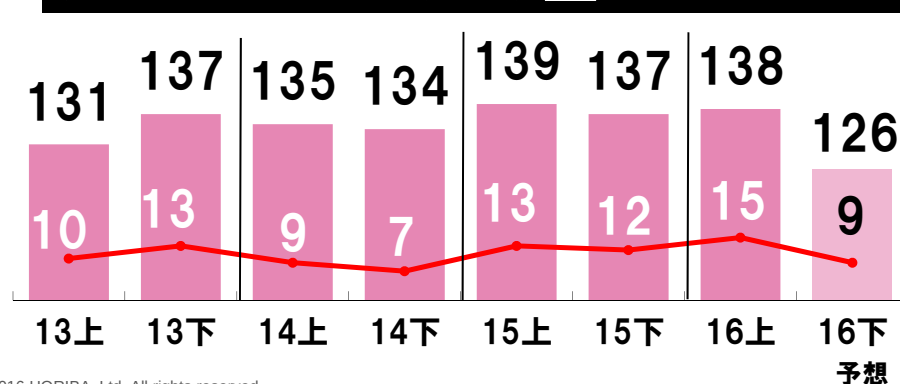
2016年上期実績

- 円高影響により円換算での欧米売上高減少
- + 日本での自動血球計数CRP測定装置の販売堅調

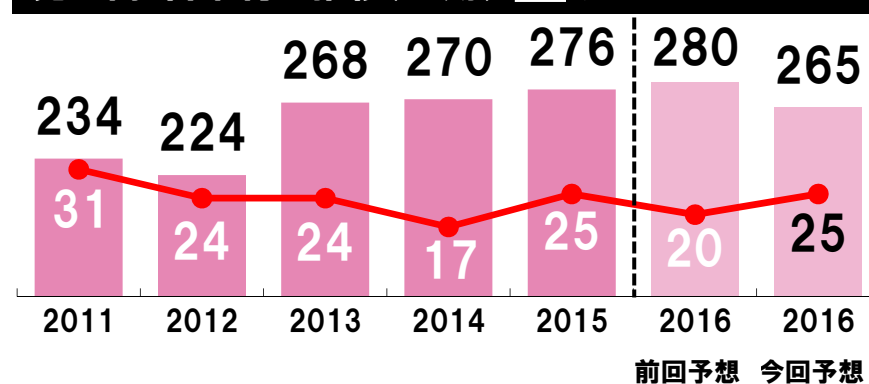
2016年通期予想

- 米国FDA承認取得費用、新製品投入のための販売促進費の増加を見込む
- + 日本での自動血球計数CRP測定装置の販売堅調

売上高・営業利益推移(半期)



売上高・営業利益推移(通期)



日仏両拠点の開発技術を共有し、開発スピード向上をめざす

フランス拠点
ホリバABX社

技術共有

日本拠点
堀場製作所

【Yumizenシリーズ】(中型機)

2015年7月発売(欧州など)

自動血球計数測定装置の中型機
病院や検査センターでの利用を想定

【LC-767CRP】(小型機)

2015年3月発売(国内)

自動血球計数CRP測定装置の最新版
4分間で全項目測定可能
採血も少量のため小児検査に最適

Yumizen

グローバルブランド
“Yumizen”の
第一号機種



日本電子株式会社と生化学機器の欧米向け販売提携



- 概要** : 生化学自動分析装置をOEM販売
対象 : 欧米の病院、検査センター など
販売 : 2016年内に欧州にて販売開始
狙い : 生化学検査市場向けの製品群を拡充し、
欧米市場での事業拡大を図る

東ソー株式会社とHbA1c測定装置の国内向け販売契約を締結



- 概要** : 糖尿病検査装置(HbA1c測定)の販売
対象 : 国内のクリニック、糖尿病専門医 など
販売 : 2016年6月販売開始
狙い : 自社の小型グルコース分析装置、自動血球計
数装置と組み合わせることで、糖尿病診断の
トータルソリューションを提供

半導体

2016年上期実績/2016年通期予想

(単位:億円)

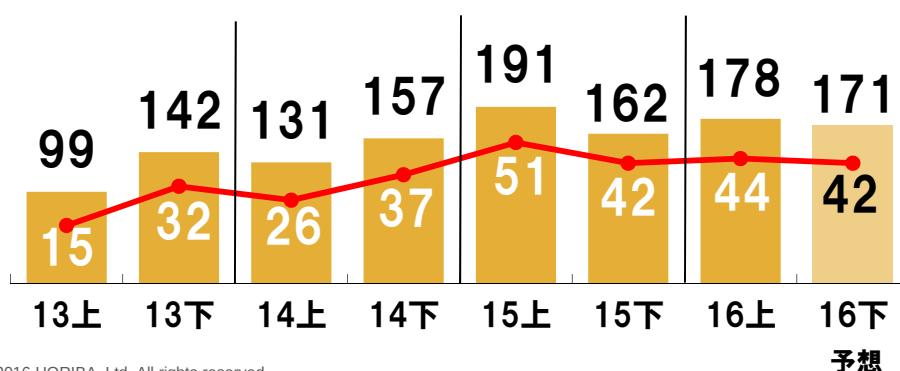
2016年上期実績

- 円高ドル安影響により円換算での売上高減少
- 本年4月の「2016年熊本地震」により阿蘇工場が被災
- + アジアでの半導体メーカーの設備投資需要が好調に拡大

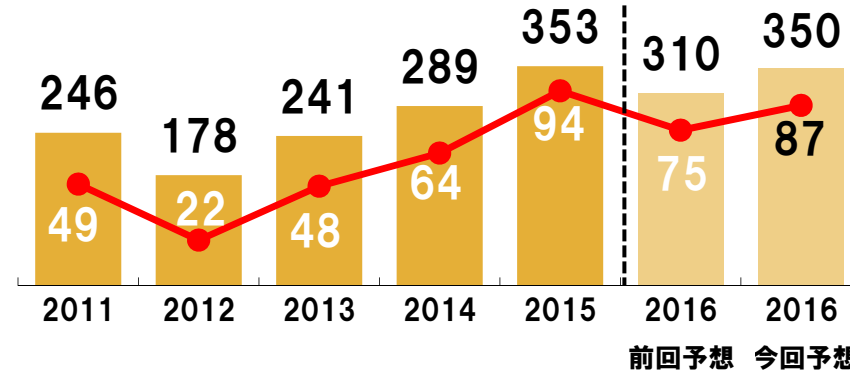
2016年通期予想

- 円高ドル安影響による円換算での売上高減少を予想
- + アジアでの半導体メーカーの設備投資需要は下期も続くと予想
- + 6月以降、マスフローコントローラー(MFC)の月産量は過去最高水準へ

売上高・営業利益推移(半期)



売上高・営業利益推移(通期)



半導体

阿蘇工場の拡大投資決定/製品市場シェア

(単位:億円)

阿蘇工場への投資

内容 : 株式会社堀場エステック 阿蘇工場の増設

金額 : 約22億円

開始 : 2016年12月着工予定

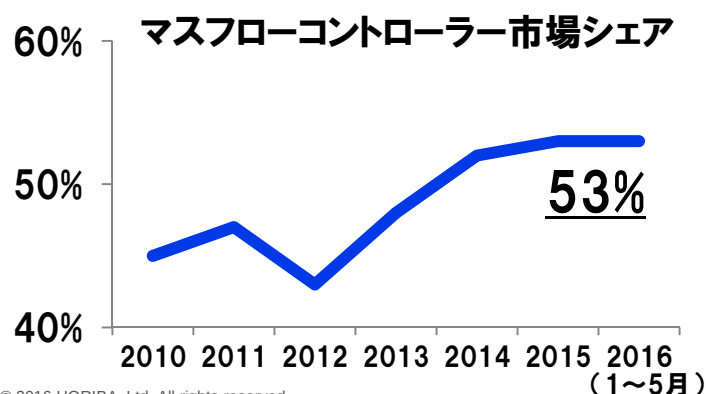
狙い : MFCの生産能力拡大(延床面積約1.5倍)

熊本地震後、熊本県で初の公開立地協定(増設)企業



西原村との協定調印式(7月30日熊本県庁にて)

マスフローコントローラーの市場シェアと市場動向



【市場動向】

半導体微細化、3D-NAND、ダブルパターンニング

➡ 投資旺盛 ➡ エッチング装置需要拡大

【HORIBA製品】

最先端の「差圧式センサー」搭載MFCの安定的な供給体制確立

2016年上期実績/2016年通期予想

(単位:億円)

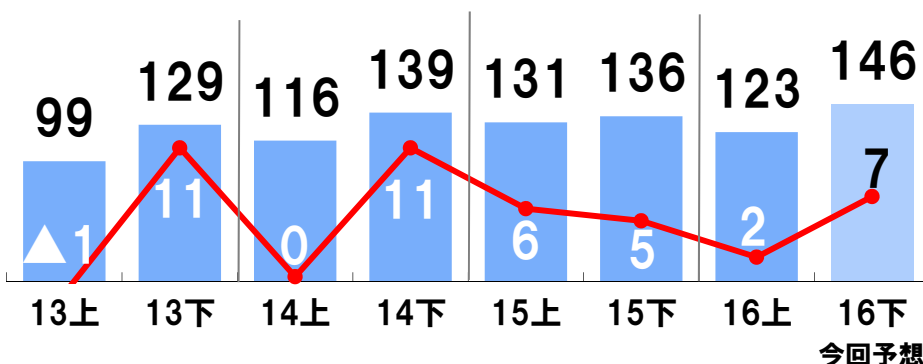
2016年上期実績

- 円高影響により欧米売上高減少
- 米州で大学向け販売が低調

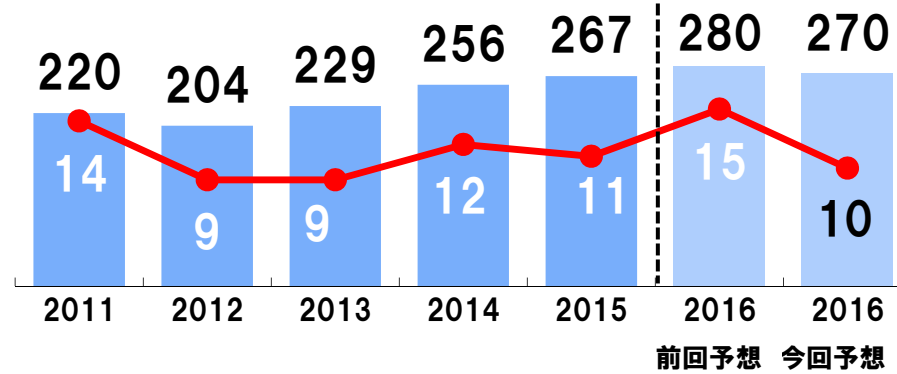
2016年通期予想

- 円高影響により欧米売上高の減少を予想
- + お客様に合わせたカスタマイズ製品による新規市場開拓を図る

売上高・営業利益推移(半期)



売上高・営業利益推移(通期)



HORIBA グレーティング(回折格子)ビジネス

特徴:分光分析装置のコア部品

世界トップシェア(当社調べ)

開発:ホリバ・ジョバンイボン社(仏)

グレーティング
連結売上高
34億円
(2015年度)



宇宙探査機にも多数搭載/JUNOに搭載され木星軌道に

- 1968年から宇宙実験用グレーティングを開発
- 各国の宇宙開発プロジェクトに貢献
- 過去に20機以上の宇宙探査機に搭載



木星探査機JUNOにHORIBA製品が搭載

Water 「水」計測への注力

株式会社堀場アドバンステクノ(京都)に「水」計測リソース集約

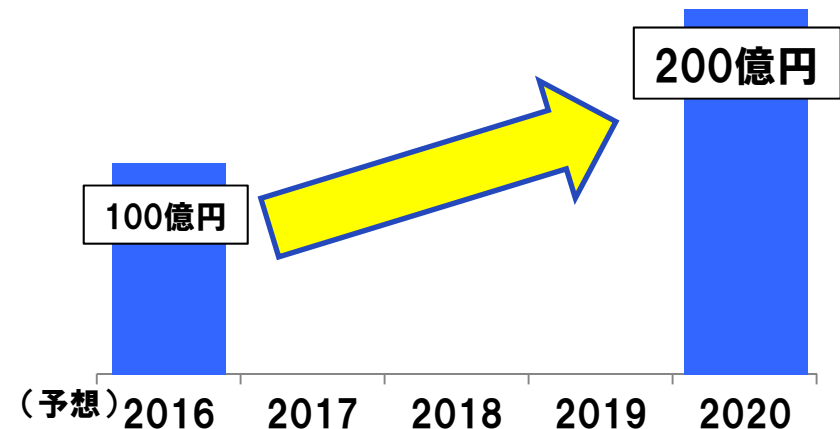
2017年1月

堀場製作所の水計測事業

⇒ **堀場アドバンステクノ**
へ事業承継(簡易吸収分割)

- 市場とより密着した製品開発
- 顧客満足度の向上

既存市場にとどまることなく
「より広範囲の市場へ」



【今までのHORIBA対象分野】

環境 : 工業廃水や上/下水管理
半導体 : 半導体製造プロセス管理
科学 : 民間研究開発施設や大学

【今後の対象分野】

- ① 現状強みがある分野のさらなる強化
- ② 水に関するサイクル全てを対象に
上水⇒産業プロセス⇒排水⇒下水

説明内容

- 2016年12月期 上期 決算概要
- 2016年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元

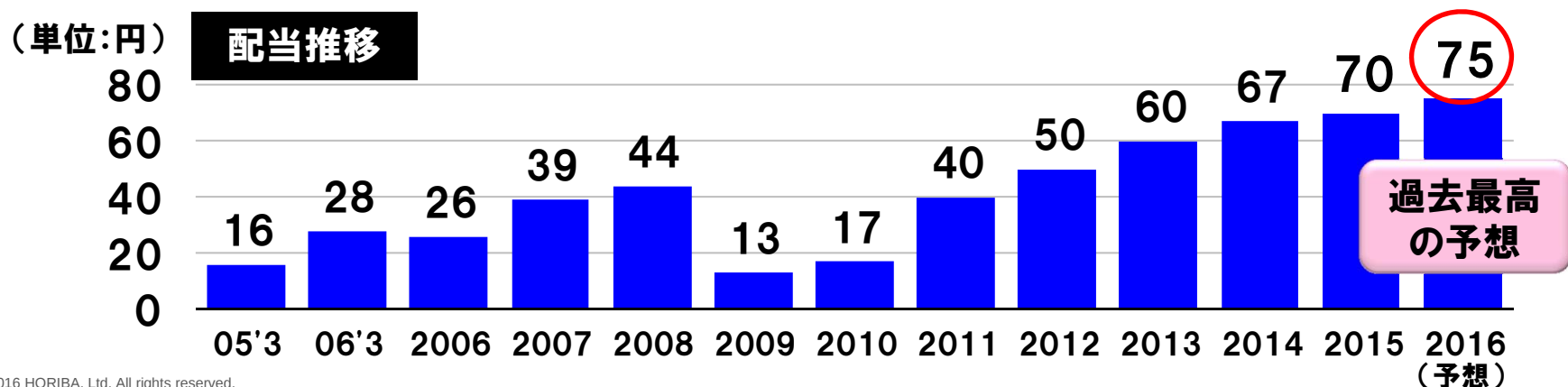
株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金＋自己株式取得＝連結純利益×30％を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&A等）

配当金及び自己株式の取得

- 2014年実績 67円 [中間25円、期末42円]
- 2015年実績 70円 [中間28円、期末42円]＋自己株式取得(9.9億円)
- **2016年予想 75円 [中間30円、期末45円]**（前回予想から変更なし）



ご清聴ありがとうございました。